

地図とデジタルサービスと情報の統一



黒田 毅

サービスの概要

次世代のデジタル社会における基幹インフラとして、地図とデジタルサービスと情報の統一における新たなインフラの構築を新規規格における標準化とともに事業化の可能性を提案したいと考えます。

これらは情報とサービスを地図との融合において提案するものであり、メタバースなどの環境においてもこれら統一した規格とともに提案できるものです。

次世代のカーナビゲーションや、デジタル社会における基幹インフラとしての整備は、次世代のコミュニケーションサービスやマネーサービスと融合し、デジタル社会における根幹を構築できるものです。

これらが次世代におけるIoT基準として、既存のインターネット環境に対して、新たな規格としてサービスの提案を可能とできると考えます。

これらが生活と密接につながる新たなデジタルインフラとして、そのサービスと規格における提案が実現できることは、基幹フレームワークの整備における事業構築を提案できると考えます。

ポイント

現状において、WEBアドレスにおいて表示されるWEBサイトを地理データにおいて表示することで、それら新たなサービスの育成を提案できるものと考えます。

これらアプリケーションの作成とともに、これらサービスが次世代のカーナビゲーション、また生活における基幹デジタルサービスとしての育成を提案することができると考えます。

これらが地図と連動して与えられることは、そのWEBサイトの構築へ、新たな規格を提案すること、またアプリケーションにおける処理環境を構築することなどにおいて、新たな可能性をサービスにおいて提案できるものです。

サービスの利点

時代と未来



新たなサービスと現実の提案

- 地理データの入力において、地図と連動したWEBサイトの表示は、新たな規格などとともに、新たなデジタルサービスの構築を実現できるものです。
- これらが、生活と社会と結びついた、新たなサービスの構築を提案することはその可能性を模索できるものであると判断します。
- これらは次世代カーナビゲーションの規格などとともに、その事業の構築を提案できると考え、生活ユースにおける拡大は事業の構築と育成を実現できるものであると判断します。
- これらフレームワークの構築を事業とすることは、規格の統一とともに、その事業化を模索できると考え、地図上の店舗における広告収入は事業化における利益環境の育成を実現できるものであると考えます。
- また、これらはアプリケーションの開発とともに、それら現実の提案を市場に求めるものであり、クラウドホストの育成は、そのフレームワークの実現とともに、独自アプリケーションにおける利用環境を提案できるものです。

サービスの概要

- 独創的
 - 市場初
 - 実用的
- 独自性が実用性を与える。
 - 新たなデジタルサービスと規格の提案
 - デジタル社会における新たなインフラとしての提案

成長戦略



- これらはインターネットの拡大と同じ現実を求めることができると考えます。
- 但しこれらが次世代カーナビゲーションとしての企画として提案できることなどは相乗的なサービスの拡大を提案できるものと考えます。
- またデジタル社会への転換における基幹インフラとしての確立などの可能性も存在するものと考えます。

市場の概要

- 立ち上げる機会
- 完全に包括的な市場
- 対象となる市場全体
- 生み出す自由
- 選択的に包括的な市場
- 実際にサービスを提供できる市場

市場に対する参加は、独自サービスをフレームワークの提案においてサービスの拡大を早急に求めなくてはいけないものであり、事業かを行うことは、自己サービスの構築を求める必要が存在するものである。

しかし可能性は生活ユースにおける拡大と次世代カーナビ規格としての採用などにおいて、市場の拡大を期待できるものである。

これらアイディアは、将来における可能性を提案できるものであり、企業連携などの可能性における事業の拡大などは考慮できると考える。

これらは時代性における要求とともに事業の構築と拡大を実現することなどはフレームワークの整備などとともに、事業かを求めることができるものと考ええる。

解決策

ホストにおける個別WEBサイトの表示は、地図データと連動した、アプリケーションにおける表示を行い、これらはWEB ブラウザーにおける表示や独自アプリケーションにおける表示を行うことで、新たな規格におけるWEBサイトの構築とともにそれらサービスの提案を実現できると考えます。

これらは生活ユースにおいて、特定地域との連携におけるさーぶすの構築を初期において提案し、サービスの周知の拡大とともに、事業の構築を求めることなどが提案できるものである。

自治体などとの連携なども視野に事業の育成を模索できるものと考えます。

- **ギャップを埋める**
- **対象**
- **コスト削減**
- **使いやすい**

チームに会う



Takeshi Kuroda

サマリー

新しいアーキテクチャーとともに、その生活におけるデジタルサービスとの新しい可能性を提案するものです。それら可能性が事業における現実として提案できる強みであり、先端システムにおける提案を実現できると考えます。

ありがとうございました

Takeshi Kuroda

0 9 0 (3 7 6 0) 1 8 8 2

judah@aol.jp

<https://kurodaint.org/>